第76回 東経新春情報会

御挨拶

日経平均株価の歴史的な連騰が話題となり、衆院選の与党圧勝で景気は回復持続との観測が広がっています。一方、トランプ米国大統領のアジア歴訪後、朝鮮半島情勢が大きく動いた場合、日本経済への波及は必至です。倒産件数の底打ち感も出てきた中、大企業では続々と不正が露見し、中小企業では粉飾・架空取引の末の倒産も目立ちます。

恒例の情報会はおかげさまで76回目となります。第１部ではおなじみの吉崎達彦氏を迎えて、下記２部構成で開催致します。是非、ご出席賜りますようご案内申し上げます。

第１部 「どうなる？ 2018年の日本経済」

双日総合研究所チーフエコノミスト **吉崎 達彦氏**

講師プロフィール

吉崎達彦（よしざき　たつひこ）

1960年富山市生まれ。一橋大学社会学部卒業後、日商岩井に入社。広報誌「トレードピア」編集長などを経て､91年米ブルッキングス研究所客員研究員｡93年から経済同友会に出向し、代表幹事秘書調査役。95年に日商岩井調査・環境部に戻り、以後調査畑を歩む。日商岩井とニチメンの合併により、2004年４月より現職。社外活動として､ＮＰＯ法人岡崎研究所理事・特別研究員（2002年～）、大阪経済大学客員教授（2017年～）、産経新聞「正論」寄稿者（2011年～）などを務める。

テレビ朝日「サンデープロジェクト」、テレビ東京「モーニングサテライト」「未来世紀ジパング」、文化放送「くにまるジャパン極」ほか、テレビ・ラジオ出演多数。2013年度フジサンケイグループ「正論」新風賞を受賞。

著書は「溜池通信―いかにもこれが経済」「オバマは世界を救えるか」「1985年」「アメリカの論理」「気づいたら先頭に立っていた日本経済」など。

第２部 「注目企業300社の解明」

マスコミでは“危ない300社”として取り上げられ、与信管理担当者のみならず関心を集めています。東京経済が情報を収集した、様々な問題を抱える企業群から注目すべき300社を実名でリストアップし、問題点を簡潔かつ生々しく解説していきます。

▶ 日 時　平成30年 **2月7日（水）**（開演13:00～16:30）

【HP】

▶ 会 場　**東京証券会館 8F 証券会館ホール**（東京メトロ茅場町駅８番出口直結）
東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8　TEL：03-3667-9210
※駐車スペースが少ないため、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

▶ 会 費　**10,000円**（※1名：当日会場受付 または お振込み）
※御名刺をご持参ください。

▶ 申込先
東京経済株式会社 東京支社
TEL：03-3544-6611　FAX：03-3544-6600

主催／**東京経済株式会社 東京支社**　代表取締役社長 / 越智 英雄　常務取締役東京支社長 / 越智 憲雄　〒104-0045 東京都中央区築地３丁目10番２号（第６東経ビル）

貴社名 ＿＿＿＿＿＿＿＿　御参加者 ＿＿＿＿ ほか　名

御住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿　TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿

お支払方法（どちらかに○をお付け下さい）　当日現金・お振込み

▶ **FAX 番号 03-3544-6600**

当用紙をそのまま FAX してお申込み下さい

HP 掲載用チラシ